

専門教育科目

講義科目

授業科目名	心理学のための統計	科目コード	配当年次	単位
担当教員	橋本 優	EK36	3・4	2

科目の概要

心理学では、目に見えない「心」に注目し研究する。心の機能であるさまざまな心理的現象を取り扱うには、どのような工夫が必要なのか。

本科目では、心を客観的に議論するための手法である統計学について、理解必須の基礎的事項を学習する。また、実際に観察された心理的現象について関連や差の有無を客観的に判断する力を身につけるために、「推定」と「検定」に関する基礎的理論と計算方法を取り扱う。

科目の到達目標

- ①心理的現象を数値に置き換えた際に、観測データの特徴を記述し説明できる。
- ②単純なデータを用いて、相関や差の有無を統計学的に判定できる。

テキスト

『心理学のための統計学入門』川端 一光/荘島 宏二郎, 誠信書房, 2014年

テキストの読み方

- ①第1章から順に取り組み、章末の「Quiz」を用いて知識の定着を図る。
- ②分散、標準偏差、有意水準といった、各章で取り上げるキーワード（青文字）の意味を理解する。
- ③計算機などを用いて、テキスト内で例示されたデータを実際に計算し確認しながら読み進める。

単位修得の方法

- ①レポート課題を提出し、60点以上であれば合格となり、科目修得試験を受験できる。科目修得試験の得点が60点以上であれば合格となり、評価が確定し、2単位を修得できる。
または、
- ②スクーリングを受講し、合格すれば2単位を修得できる。この場合、レポート課題の提出と科目修得試験の受験は不要。